

問 ふくしのまちを核としたPR戦略の考えは
答 モデルケースとしてPRしていく

問 福祉施設建替えでの食事の考え方は
答 学校給食は除くが保育所給食は検討中



窪田裕二議員



ふくしのまちを核としたPR戦略の考え方は

福祉施設建替えに伴い、和寒町と民間企業がタッグを組む形で、施設建設だけではなく、まちづくりの観点から創り出す計画は、全国を見ても前例がない取り組みだと感じる。

今後、行政視察やマスメディアの取材など、本町が注目されると予測するが、PRや対策はどの様に考えているか。

奥山町長

ふくしのまちづくり基本構想は福祉施設を中核として在宅サービスや障がい者サービス、子どもたちが集う場所や新たな機能を設けるなど、前例のない大きなチャレンジでもある。

この取り組みを成功させることで、まちづくりのモデルケースとして全国から注目を集め、交流人口や関係人口が増えると考ええる。

これまで同様に、積極的に報道していただき、地域の魅力を高め、人を呼び込むことに繋がるものと考ええる。



▲今後大きな注目を集めると想定される、新たな福祉施設の建設予定地

福祉施設建替えでの食事の考え方は

施設建替えに伴い、基本構想・基本計画が常任委員会で示された。

その中で、町民から学校給食・保育所の食事、また、高齢者の配食サービスの要望が上がっているが、町としての様に考えているか。

奥山町長

学校給食は、学校給食法により町が厨房を整備する必要があるので、学校教諭を町単独で設置しなければいけない。

さらに、これまで士別市と共同で学校給食施設・管理・配送を実施してきた経緯も踏まえ、学校給食は取り除く。

保育所に関しては、3歳未満児は施設内での調理が求められていることから慎重に検討している。

配食サービスは社会福祉協議会で75歳以上の希望者を対象に、毎週火曜日夕食時のお弁当（有料）を届けているほか、今年度からは配食事業者への配達経費補助を行っている。

今後は、社会福祉協議会と福祉法人ゆうゆうと事業のあり方について協議して行く。